

1年生、初めての「総合的な探究の時間」



1年生の総合的な探究の時間が始まりました。5/17の第1回では、1年生全員を対象として、島根大学教職大学院の中村怜詞准教授に授業を進めていただきました。

授業の前半では、3つのアクティビティ（右表）を通して、**社会で生きていく上で必要となる力**を学びました。

中でも、「チームづくり」で**自分に足りない力**について気づきを得た生徒が多かったようです。早くチームができた人は、まだチームができない人に手を差し伸べましたか？チームができない人は助けを求めましたか？という中村准教授からの問いかけにハッとさせられたようでした。**その場にいる人全員が良い状態になるために、自分に何ができたかを考えさせられていました。**

1年生は、これから7月までの4回の授業時間を使ってチームごとに東高校のCMを制作し、最優秀作品は学校HPで公開されます。

この日の授業の後半はそのCM制作に必要な

3つの アクティビティ

	内容
チームづくり	2分間で以下の条件をすべて満たすチームを作りましょう。 3～4名／男女混合／血液型が3タイプ以上
人間知恵の輪	6～8人のチームで手をつないで輪になり、手を離すことなく与えられた4つのフォーメーションを組みましょう。
学びの場づくり	3分以内に学びが最大化する環境を整えよう。

となるネタ集めを行いました。早速校内を歩き回って**東高校の魅力を探す**チームや、まずは**思いつく限り魅力を出し合う**チームなど様々でした。

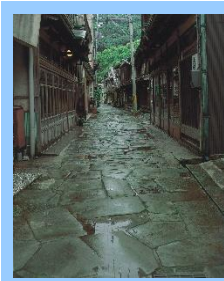
「**他の高校にないもの**を探そう。」という視点を持っているチームもあり、どんなCMに仕上がるのか楽しみです。



2年生、情報の編集を学ぶ

島根大学で高須先生の講義を受講する、2年生の第3回「MATSUE探究」では、モノやサービスなどの価値を伝えたい相手に魅せるための手法として、**情報の編集方法**を学びました。

与えられた松江市の風景写真について、特徴や価値、伝えたい相手を班ごとに話し合い、写真に付ける**キャッチコピー**を考えました。特に「**ここにしかないもの**」、「**ここでしかでき**



ない体験」は何かという視点で考えることが難しかったようです。

ところで、高須先生は受講生の意見を聞くために**スマホを使って回答**させ、その結果を即座にグラフで示し、受講生の**思考の状態を可視化**しておられました。いずれ高校教育でもこのような手法が一般的になれば、生徒の主眼的・対話的な学びがさらに深まっていくのではないかと感じました。

◀風景写真の一例（美保関町の青石畳通り）
「古風なバーজনロード」というキャッチコピーをつけた班もありました。

発行者

魅力化コンソーシアムマネージャー
福井 香衣（ふくい かえ）



20年ぶりにホーランエンヤを鑑賞。東高校の先生も参加しておられて、地区ごとの違いなどを聞くことができ、より理解が深まりました！